

技学イノベーション機器共用ネットワーク

【目的】長岡技科大-豊橋技科大-高専が一体となり、新たな研究機器相互利用ネットワークモデルとして「**技学イノベーション機器共用ネットワーク**」の基盤を構築し、長岡技科大周辺の複数企業および新潟県工技総研を協力機関として加え、産官学協働による研究機器の有効活用を通じ、**地域全体の研究開発力の向上**および**高度分析技能を持つ技術者育成**に繋げることを目指す。

取組状況	三機関連携事業による両技科大-全国立高専へのGI-net(テレビ会議システム)整備	学長戦略経費による機器遠隔利用システムの構築と学内遠隔利用試行	学長戦略経費による長岡技科大-高専-企業間での共同研究の推進(連携強化)
-------------	-------------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------

解決すべき課題と、それに向けた取組内容

① 共用ネットワーク運営基盤の構築

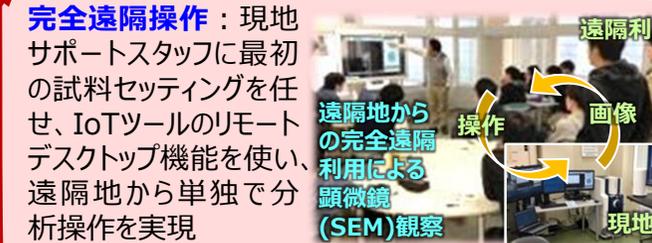
- ◆ 機器情報の共有(本申請時72機器)(機器の性能、測定例等)
- ◆ 学外レンタルサーバーでの機器検索・利用予約システムの構築
- ◆ 機器相互補完利用に関する**協働組織構築**

リモート機器活用協議会(仮称)による本ネットワーク機能強化推進

- 機器相互利用ネットワークの使用方法等に関するルールの方策
- 機器共同利用による高専連携の強化
- 機器共同利用を通じた産学連携の推進
- 高度分析技能人材の育成

② 遠隔機器操作システムの構築

- ◆ IoTを活用した完全遠隔(4機器)および半遠隔操作(22機器)による機器利用システムの構築
- ◆ 試料搬送・情報セキュリティシステムの確立



③ 高度分析技能を持った技術者育成

- ◆ 共同機器講習会・セミナー・実技講習⇒インストラクター登録試験
- ◆ 技術研究発表会
- ◆ インストラクター⇒アウトリーチ型高度分析技能者の育成

